

系	統	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材
特	長	1) コンクリートとの接着性に優れる。 2) 作業性に優れる。
用	途	1) SBトフコートF工法、SBトフコートAU工法、の素地調整材 首都高速道路(株)橋梁構造物設計要領(コンクリート片剥落防止編)はく落防止工 同等
配	合 比	主 剤 : 硬化剤 : 骨 材 = 1 : 3 : 8 (重量比)
荷	姿	24kgセット (主剤/2.00kg、硬化剤/6.00kg、骨材/16.00)
外	観 性 状	主 剤…淡黄色液状 硬化剤…黄褐色液状 骨 材…灰色粉体 混合物…灰白粘稠液状

## 可使時間の目安

温 度 [ °C ]	5	10	20	30
可 使 時 間 [ 分 ]	180	150	70	30

比 重	1.50～2.00 (混合物液比重)
標準使用量	0.50～1.50 kg/m <sup>2</sup>
貯蔵保証期間	6か月(未使用、冷暗所保存)
消防法による区分	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 硬化剤 該当しない 骨 材 該当しない
毒物及び劇物取締法	主 剤 該当しない 硬化剤 該当しない 骨 材 該当しない
使用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤、骨材を配合比にしたがって計量する。 2) 最初に計量した主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に攪拌する。 攪拌した混合液に骨材を加え、更に攪拌機で均一になるまで十分に攪拌する。 3) 金ゴテ、ゴムベラなどで可使時間内に打設し養生する。
使用上の注意	1) 原則として気温5℃以下、湿度85%以上、雨天時、結露時の塗装は避ける。 また、表面含水率5%以下であることを確認する。 2) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイトンス、汚れ、水分の除去) 3) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 4) 下地の吸い込みが激しい場合は、多めに塗布する。ピンホールの発生が抑えきれない場合は、1回目に塗装した塗膜が乾燥した後に再度塗装を行う。 5) 混合攪拌後すみやかに塗布し、可使時間内に塗布作業を終了する。 6) 高湿度の状態では硬化が遅くなるため、塗膜の乾燥状態には十分に注意する。

⚠ 注 意
-------

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>健康上、注意を要する物質を含有しています。</li> <li>皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。</li> <li>取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。</li> <li>詳細については安全データシート(SDS)を参照してください。</li> </ol> |
|--|